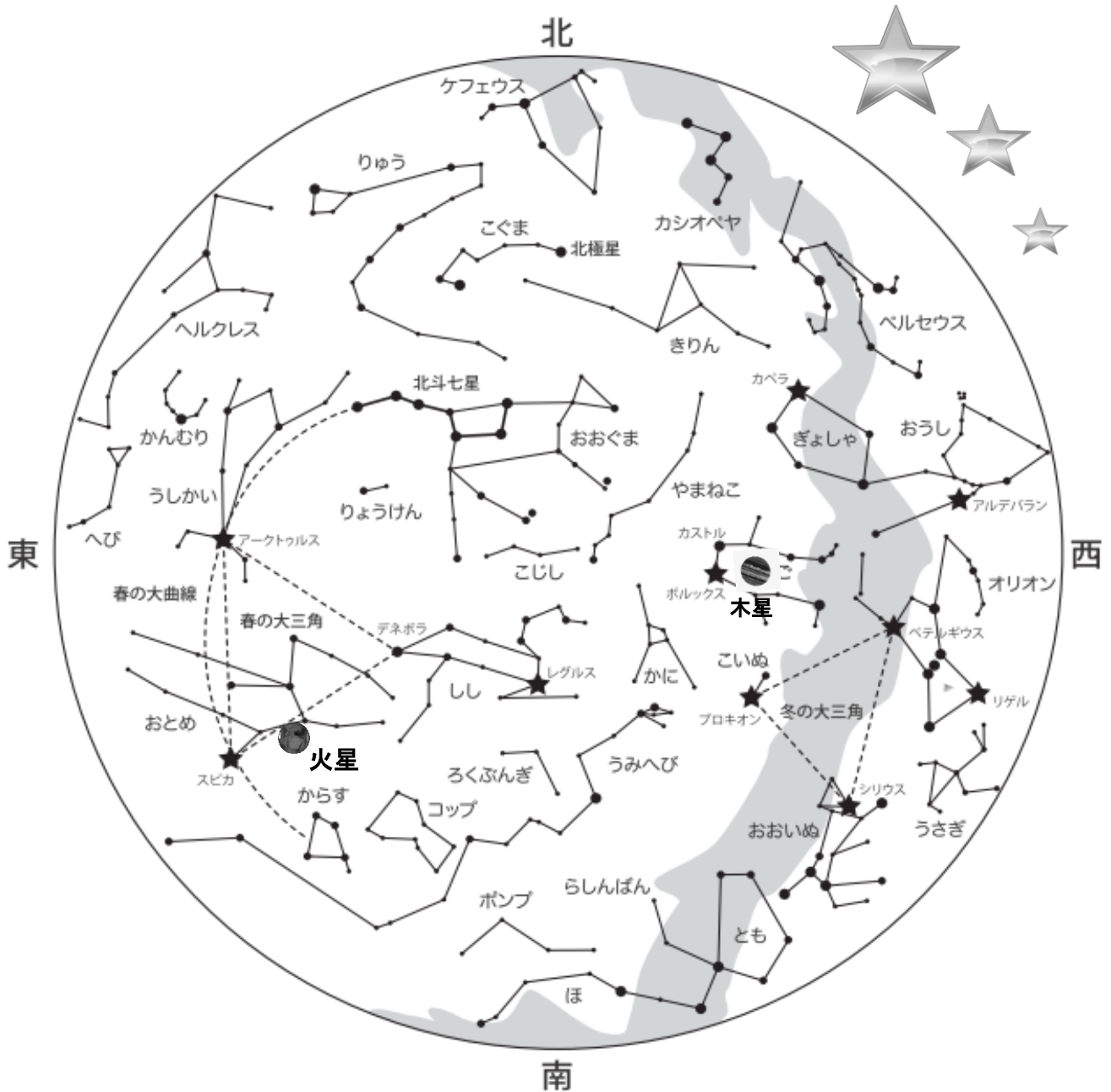


山奥のたのしい課外授業～春の星空観察

空気がきれいで光害の影響がほとんど無い「山佐ダム」では、天気の良い日は素晴らしい星空を観察することができます。

寝転がって空を見れば、そこは天然のプラネタリウム、まるで自分が宇宙に浮いているような錯覚を覚えます。そのうえ流れ星が見えたら最高ですね。

～4月下旬午後8時頃の星空～



4月下旬の午後8時頃の星空です。
木星や火星は4月26日の位置を表示していますが、見かけの大きさは異なります。
実際の空を見ながら星を探すときは見る方向を下にして見てみましょう。

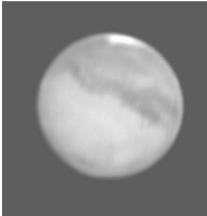
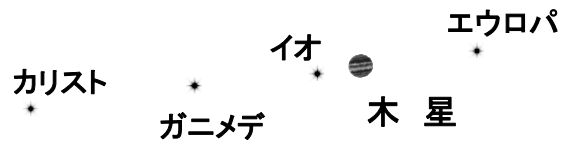
惑星

地球と同じく太陽系の仲間達です。

★木星

木星は、太陽系最大の惑星です。
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)の位置を観察できます。
4大衛星は木星の周りを回っているので、日によってその位置関係が変化します。

4月26日の4大衛星

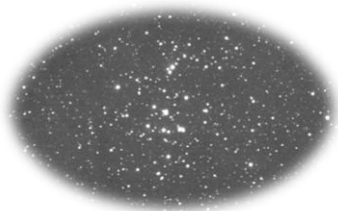


★火星

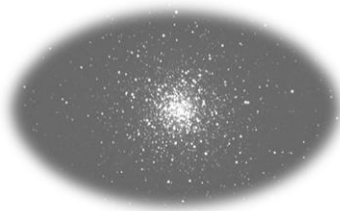
地球のすぐ外側を回る火星は、今月14日に最接近し、火星の表面模様を観察するチャンスです。地球と火星は太陽を回る周期の違いから、約2年2か月ごとに接近します。

星雲・星団

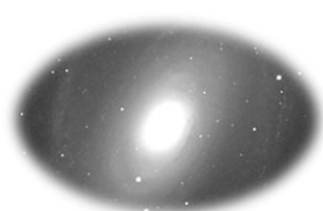
この季節に見ることができる代表的な星雲・星団を紹介します。



散開星団M44(かに座)



球状星団M3(りょうけん座)



渦巻き銀河M81(おおぐま座)

雲のように見える天体が星雲、星の集団に見える天体が星団です。
双眼鏡で手軽に見られるものから、本格的な天体望遠鏡が必要なものまで、形や大きさも多彩です。

重星

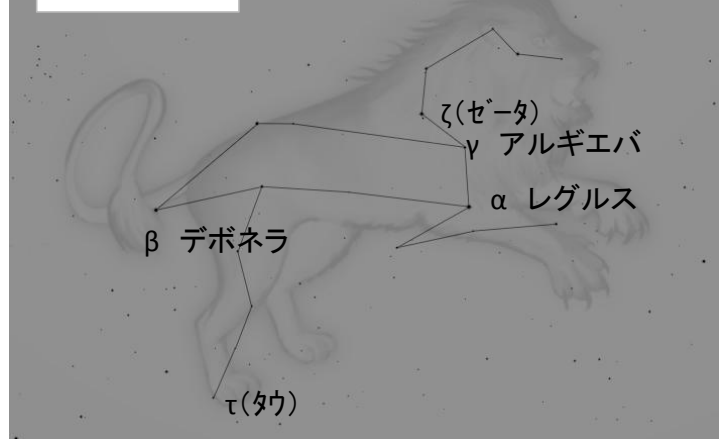
一見するとただの星？

拡大すると、二つ以上の星に分かれる星を「重星」と呼びます。

星の色や明るさの対比が初心者でも楽しめます。

ごらんのように、しし座だけでも多くの重星が観察できますが、この中でも γ 星(アルキエバ)や τ (タウ)星は色の対比が美しい二重星です。

しし座の重星



お断り 使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
空のコンディション(雲、透明度)により、目的の天体が見えないこともあります。

松江星の会

検索

もっと知りたい?

Matsue Astronomy Club
MAC 松江星の会